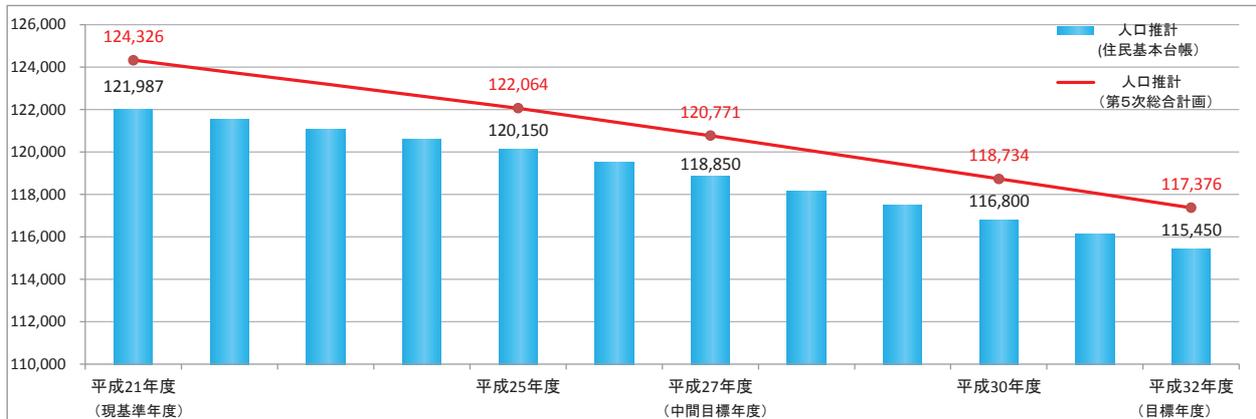


【資料】人口推計

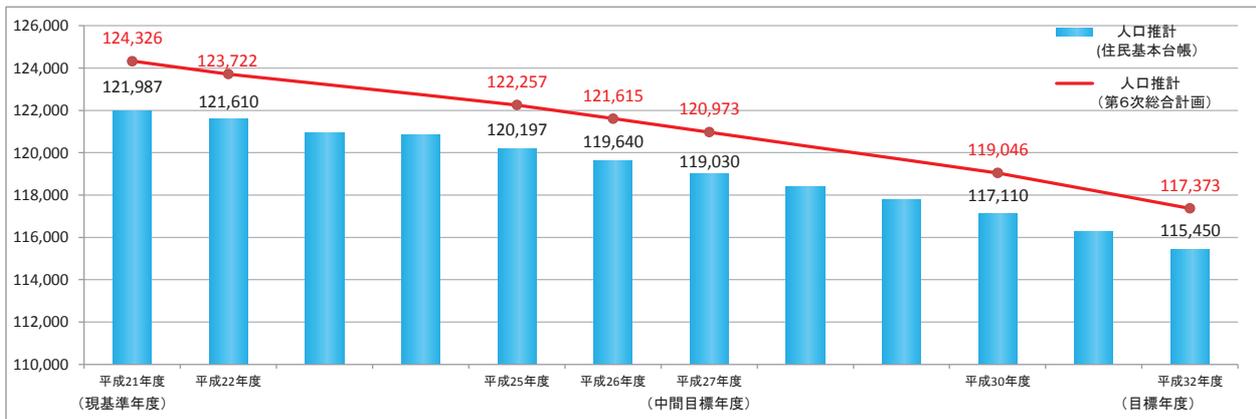
現計画での人口推計(人)

現計画の人口推計は平成21年度末の住民基本台帳登録人口を起点として、第5次江別市総合計画の人口推計に準じて算定し、平成32年度における人口を115,450人と推計しました。



見直し後の人口推計(人)

本計画の人口推計は平成26年度末の住民基本台帳登録人口を起点として、平成26年3月に策定した第6次江別市総合計画の人口推計に準じて算定し、平成32年度における人口を現計画と同じ115,450人と推計します。



※ 総合計画の人口は、住民基本台帳に登録されていない人口を含む国勢調査の人口(5年毎)を基に推計しており、年度末住民基本台帳登録人口を用いる本計画の人口推計より多い数値となっています。

※ 国勢調査は、生活実態に即して実際に居住している場所で調査を行っていることから、住民登録を変更せずに江別市に転入するなど、住民票の届出場所と実際に住んでいる場所が一致しない場合があるため、江別市では国勢調査の人口が多くなっている状況です。

平成17年度

国勢調査人口(平成17年10月1日) ⇒ 125,601人 住民基本台帳登録人口(平成17年10月1日) ⇒ 124,032人

平成17年度の国勢調査人口と住民基本台帳登録人口の差 ⇒ 1,569人

平成17年度末住民基本台帳登録人口(平成18年3月31日) ⇒ 123,070人(国勢調査人口との差 ⇒ 2,531人)

平成22年度

国勢調査人口(平成22年10月1日) ⇒ 123,722人 住民基本台帳登録人口(平成22年10月1日) ⇒ 122,138人

平成22年度の国勢調査人口と住民基本台帳登録人口の差 ⇒ 1,584人

平成22年度末住民基本台帳登録人口(平成23年3月31日) ⇒ 121,610人(国勢調査人口との差 ⇒ 2,112人)

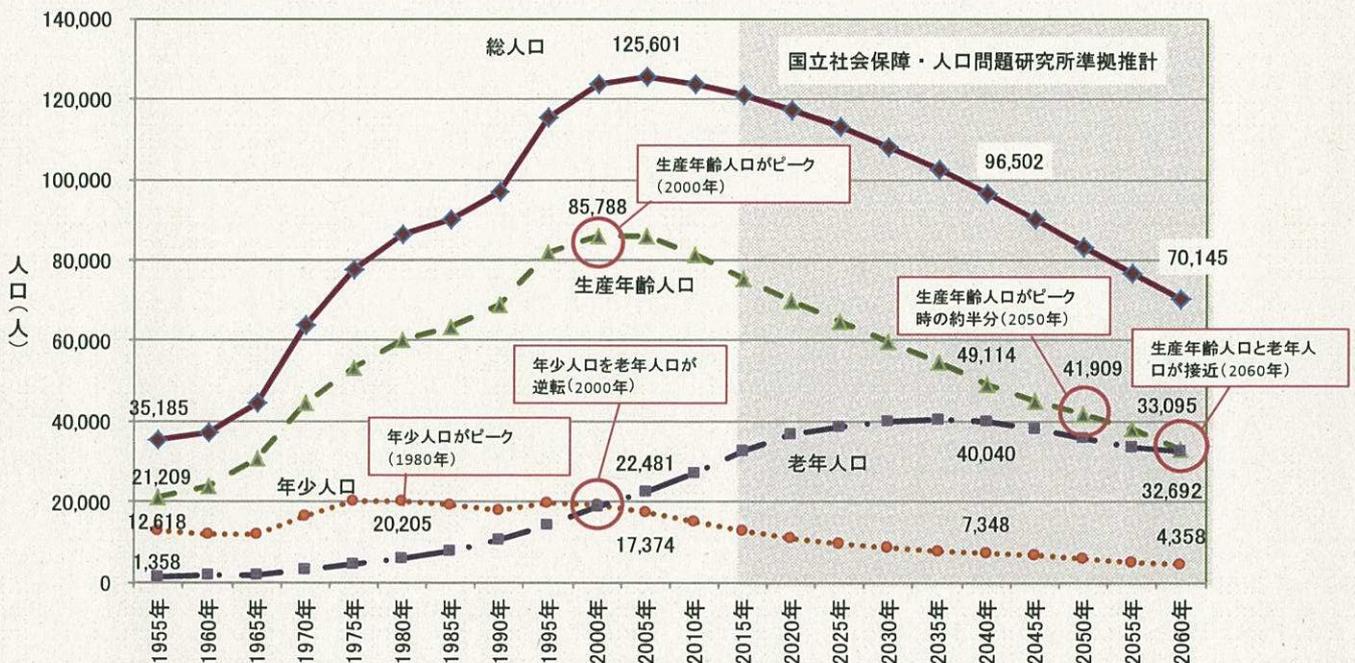
江別市人口ビジョン（案） 【概要】

江別市人口ビジョンは江別市における人口の現状を分析し、
今後、目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するものです

I 人口の現状分析

1 総人口の推移について

図表1 江別市の年齢3区分人口の推移（1955年（昭和30年）～2060年（平成72年））



（出典）2010年までは国勢調査、2015年以降は「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

（国立社会保障・人口問題研究所）に準拠した推計

※年齢3区分人口：年少者人口は0～14歳、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上（高齢者）の人口

江別市の総人口は、国勢調査ベースで2005年（平成17年）の125,601人をピークに減少傾向に入っています。また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年（平成52年）時点で96,502人となり、ピーク時の約76.8%まで減少すると推計されています。

【将来展望】

国は「まち・ひと・しごと創生総合ビジョン」の目指すべき将来の方向として、希望出生率の実現を掲げています。これをうけ、江別市の人口推計を再計算したものが下のグラフです。推計では、2015年（平成27年）から出生率が徐々に改善し、2040年（平成52年）に希望出生率1.68を実現するものと仮定しており、2060年（平成72年）には人口置換水準である出生率2.07まで回復すると仮定しています。

このような出生率の改善が実現された場合、2040年（平成52年）時点では、図表1の推計と比較して6,253人増加し、2060年（平成72年）時点で同15,309人増加するものと見込まれます。

